



有限会社山本商店

運輸安全マネジメント2023

YAMAMOTOLINE

運輸安全マネジメント 2023

当社の事故防止における安全方針

- ◆業務上いかなる場合であっても安全運行を最優先とする。
- ◆安全運行に関わる弊社独自のPDCAサイクルを取り入れ、安全に対する認識度を高めるとともに会社と従業員の成長へつなげる。
- ◆安全運行を通じて輸送の社会的貢献を目指す。

社内への周知方法として

- ◆事務所内に掲示し、点呼や社内ミーティングで唱和する。

運輸安全マネジメント 2023

安全方針に基づく目標

～2023年度安全管理の目標として～

- ◆前年度に引き続き、無事故・無違反ゼロを目指す事を目標とし今期も継続していく。
- ◆従業員一人ひとりが「安全」に関わるテーマと向き合い、年間の業務を通して日々取り組んでいく。
- ◆上記内容及び法令遵守の精度を年々上げる事を目標に、今後Gマーク取得に向けての布石を打つ。
- ◆社員の健康面にも目を配り全力でサポート。心身ともに万全な状態で日々の安全運行へつなげる。

運輸安全マネジメント 2023

目標達成に向けての主な計画

～2023年度安全管理の目標として～

- ◆点呼や社内ミーティング及び社内講習の中でPCDAサイクルを落とし込み、安全運行に対する方針の強化を図る。
- ◆デジタコを最大限に活用し安全運行、車両管理の徹底。また自社で実際に起きた事故やヒヤリハット等のドラレコ映像を使って社内講習に役立てる。
- ◆今後の課題に直面した場合は、速やかに問題点を模索し社内で協議を重ねて改善につなげる。

運輸安全マネジメント 2023

安全に関する主な情報交換方法として

- ◆年間取り組んでいる社内ミーティングや個別の面談の中で従業員との意見交換を積極的に行い、安全運行に対する目標を取り決め、かつ認識度を高めていく。
- ◆「安全」に関わる項目をテーマに掲げ定期的に社内講習を開催し、それに基づいて実績を積み重ねていく。
- ◆トラ協や交通共済等で年間配信される事故事例や悪天候での注意事項などをミーティングに取り入れ、原因・対策の徹底につなげる。
- ◆突発的に発生する情報をデジタルメールやLINEで発信する事でリアルタイムに共有する。

運輸安全マネジメント 2023

安全に関する反省事項

- ◆年間通して安全への取り組みが功を奏すも、何故か11月に物損・自損・ヒヤリハット等が連続的に発生してしまう。人為的なミスへの恐ろしさを痛感するも、今後も無事故が限りなく100%に近づけられるよう、日々再発防止に取り組んでいく。
- ◆速度超過の内容は年々改善傾向にあるが、それでも運行月によって速度超過にばらつきが若干目立つ。一時的に改善しても時間とともに安全に対する意識が薄れている傾向がある。

運輸安全マネジメント 2023

反省事項に対する改善方法として

- ◆なぜ事故や自損が起こるのか？その原因や根源となるものを社内で解析を重ねて改善につなげる。
- ◆日常の点呼や社内ミーティング等で再度安全に対する徹底を心がけると同時に、必要であれば追加事項を立案して安全対策に落とし込んでいく。
- ◆安全運行だけでなく日頃の私生活や食事などにも向き合い、メンタル面での指導・サポートに取り組む。

運輸安全マネジメント 2023

安全・健康及び業務に関わる講習年間計画表

	主な講習内容	開催場所
1月	雪道対策に関する備え・対策 製紙会社安全講習	会社
2月	健康診断① 事故事例に基づいた要因分析と対処①	SKIP/会社
3月	もしも事故を起こした場合の緊急対応についての講習	会社
4月	交通安全に関する動画配信（新年度に向けて）	会社
5月	車両構造の特性を把握する為の動画配信及び社外講習	会社/車庫
6月	健康管理マニュアルに基づいた社内講習	会社
7月	夏場の熱中症対策に関わる動画配信及び社内講習	会社
8月	事故事例に基づき要因分析とその対処についての講習②	会社
9月	健康診断② 脳疾患・高血圧に関する社内講習	SKIP/会社
10月	冬季に向けてのチェーン巻き動画配信及び実演講習	会社/車庫
11月	冬季に向けて危険対策と緊急対応についての社内講習	会社
12月	実際のドラレコ映像を使って解析と対策(年末繁忙期に向けて)	会社

YAMAMOTOLINE